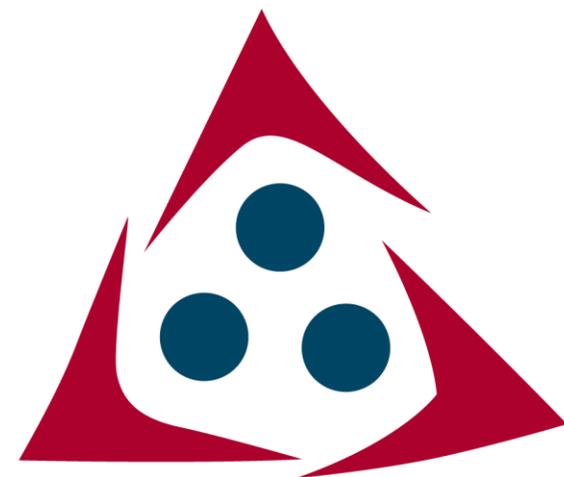


2025年12月期 第2四半期及び上期 決算説明資料

2025年8月12日 株式会社ラキール
(東証グロース：4074)



LaKeel

1. 上期決算ハイライト
2. 業績推移と連結決算の概況
3. 業績予想の修正について
4. 事業の特色と成長戦略
5. Appendix

1. 上期決算ハイライト

上期決算ハイライト

増収増益（プロダクトサービスは増加、プロフェッショナルサービスは減少）

連結業績

前年同期比

増収／増益

プロダクトサービス売上

前年同期比

16.9%増
(4.05億円増)

プロフェッショナルサービス売上

前年同期比

16.2%減
(2.86億円減)

営業利益

前年同期比

38.9%増
(1.69億円増)

経常利益

前年同期比

43.8%増
(1.85億円増)

純利益

前年同期比

45.1%増
(1.29億円増)

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載

上期決算ハイライト（プロダクト）

LaKeel製品のサブスク売上は堅調に推移

プロダクトサービス売上比率

前年同期比

57.6% ⇒ 65.5%

サブスク^{※1}ユーザー数

前年同期比

6.7%増
(23ユーザー増)

344ユーザー ⇒ 367ユーザー

サブスク^{※1}売上

前年同期比

20.9%増
(118.7百万円増)

568.4百万円 ⇒ 687.1百万円



MRR(月間経常収益)^{※2}

前年同期比

16.2%増
(16.2百万円増)

100.2百万円 ⇒ 116.5百万円

ARPU(ユーザー平均単価)^{※2}

前年同期比

8.9%増
(2万6千円増)

29万1千円 ⇒ 31万7千円

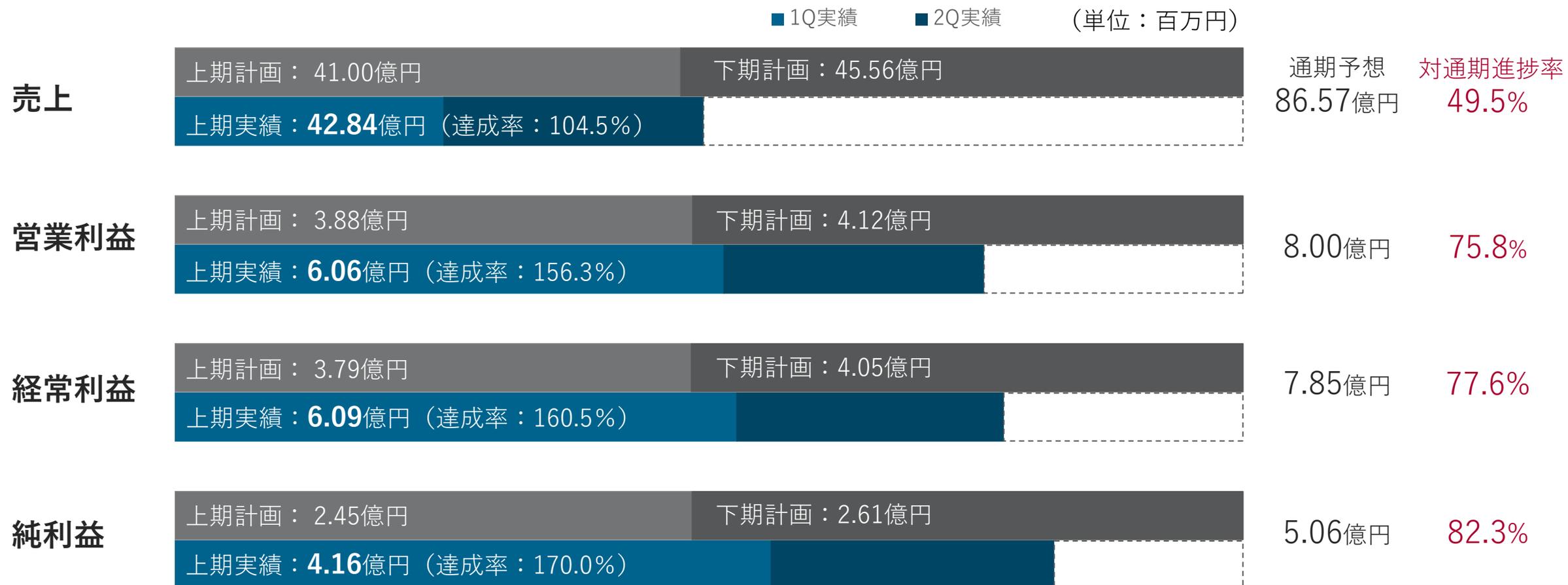
※1 LaKeel製品を対象としたサブスク

※2 MRR(月間経常収益)は四半期のサブスク売上を3で除して算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出

2. 業績推移と連結決算の概況

業績予想の達成状況

売上は概ね計画通り、利益は計画を上回って進捗



※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載

※ 上期実績と下期の見通しを踏まえ、業績予想の修正を行う。詳細については後述

第2四半期及び上期の決算概況 (P/L)

ライセンス販売が増益に寄与

(単位：百万円)	FY2024 2Q	FY2025 2Q	増減率	FY2024 上期	FY2025 上期	増減率
売上	2,078	2,103	+1.2%	4,166	4,284	+2.9%
売上総利益	702 (33.8%)	800 (38.1%)	+13.9%	1,416 (34.0%)	1,671 (39.0%)	+18.1%
販管費	548 (26.4%)	605 (28.8%)	+10.3%	979 (23.5%)	1,065 (24.9%)	+8.8%
営業利益	153 (7.4%)	194 (9.3%)	+26.8%	436 (10.5%)	606 (14.2%)	+38.9%
EBITDA	266 (12.8%)	322 (15.3%)	+20.7%	653 (15.7%)	857 (20.0%)	+31.1%
経常利益	147 (7.1%)	196 (9.3%)	+33.2%	423 (10.2%)	609 (14.2%)	+43.8%
純利益	98 (4.7%)	134 (6.4%)	+36.3%	287 (6.9%)	416 (9.7%)	+45.1%

増益

- 好調なLaKeel製品の販売により利益が大きく改善
- コンサルティングサービス及びプロフェッショナルサービスの減収をこなし全体では増収増益

販管費

- 販管費は前年同期比で若干増加

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載

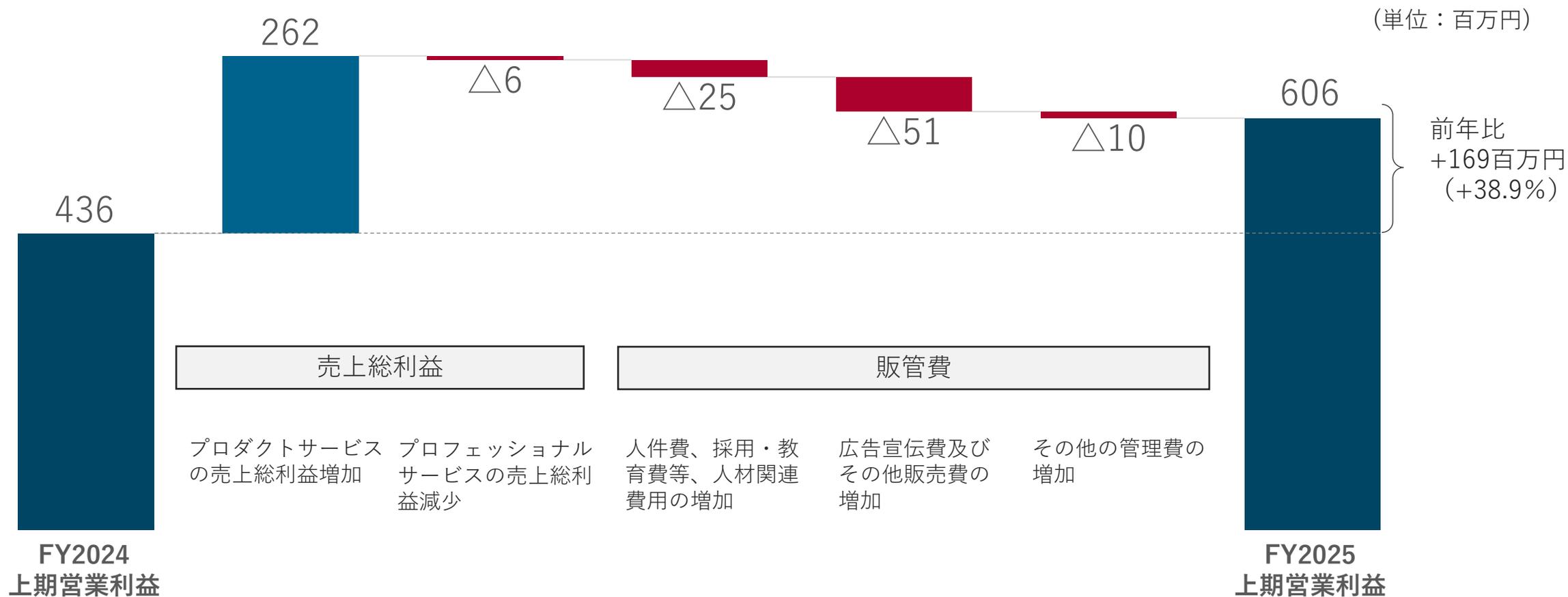
サービス別売上内訳

製品サービスは大幅増、コンサルティングサービスとプロフェッショナルサービスが減少

(単位：百万円)		FY2024	FY2025	増減率	FY2024	FY2025	増減率	
		2Q	2Q		上期	上期		
連結合計		2,078	2,103	+1.2%	4,166	4,284	+2.9%	
プロダクトサービス		1,198	1,332	+11.1%	2,401	2,806	+16.9%	プロダクトサービス <ul style="list-style-type: none"> LaKeel製品のライセンス売上は、特にLaKeel HRの販売が好調に推移。四半期毎のばらつきはあるものの通期では前期の2倍以上になる見通し LaKeel製品のサブスクリプション売上も堅調に推移 コンサルティングサービスは3Q以降の回復を見込んでいたが、3Q末まで時間を要す
製品サービス	ライセンス	82	323	+289.5%	233	735	+215.4%	
	サブスクリプション (LaKeel製品)	300	349	+16.2%	568	687	+20.9%	
	サブスクリプション (LaKeel製品以外)	31	24	△24.3%	65	50	△22.3%	
	その他	29	31	+7.7%	65	63	△3.4%	
コンサルティングサービス		753	603	△19.9%	1,468	1,269	△13.6%	プロフェッショナルサービス <ul style="list-style-type: none"> 1Qで下げ止まり、2Q以降は回復傾向
プロフェッショナルサービス		879	770	△12.4%	1,764	1,478	△16.2%	
	フロービジネスレベニュー	109	128	+17.3%	193	245	+26.8%	
	リカーリングレベニュー	770	642	△16.6%	1,570	1,232	△21.5%	

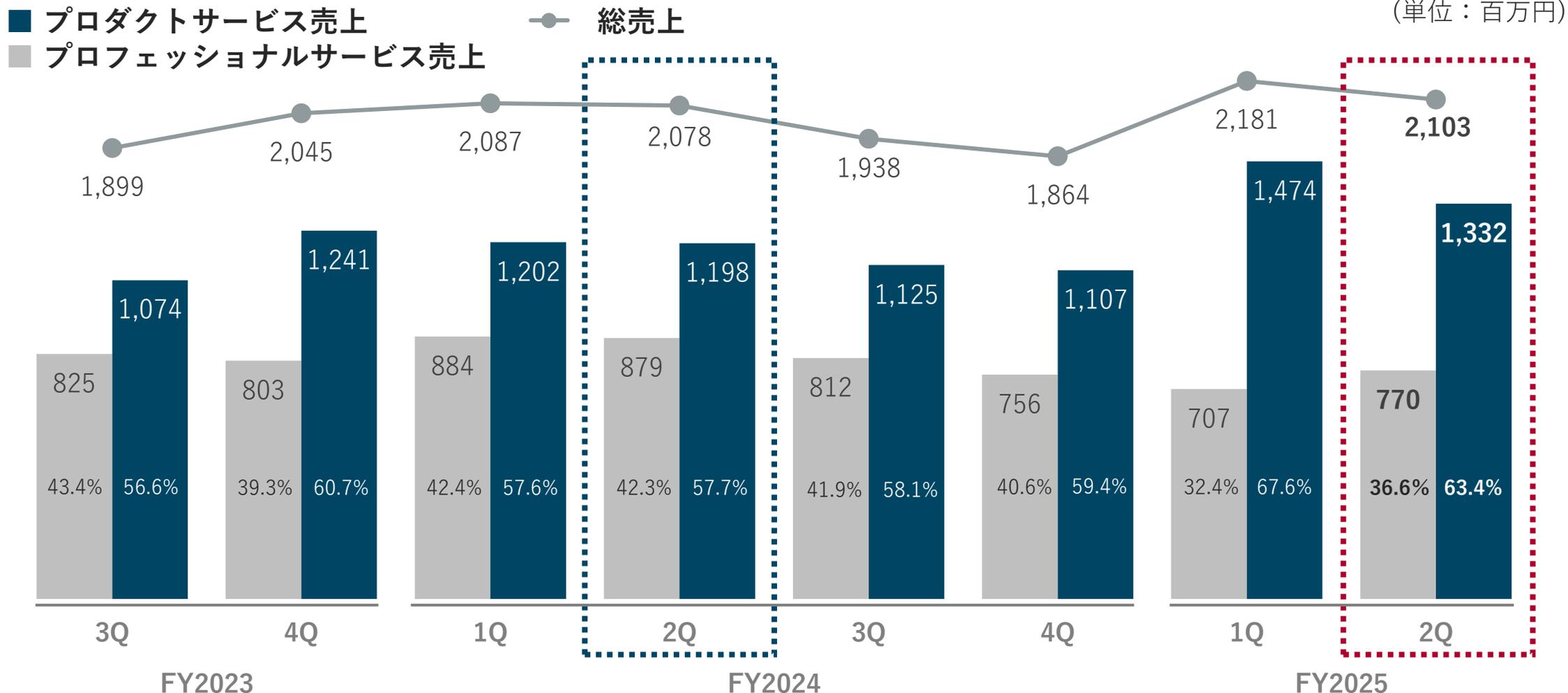
営業利益の増減分析

ライセンス売上が売上総利益を押し上げ、利益大幅増に貢献



サービス別売上比率推移

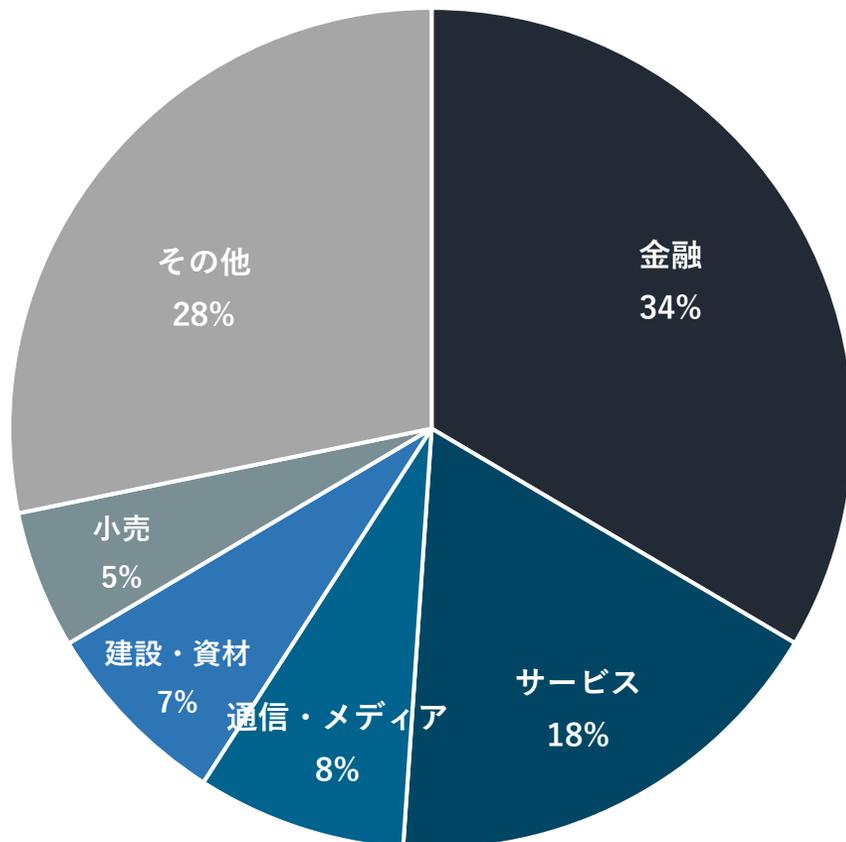
プロダクトサービスは前年同期比で増加、プロフェッショナルサービスも回復傾向へ



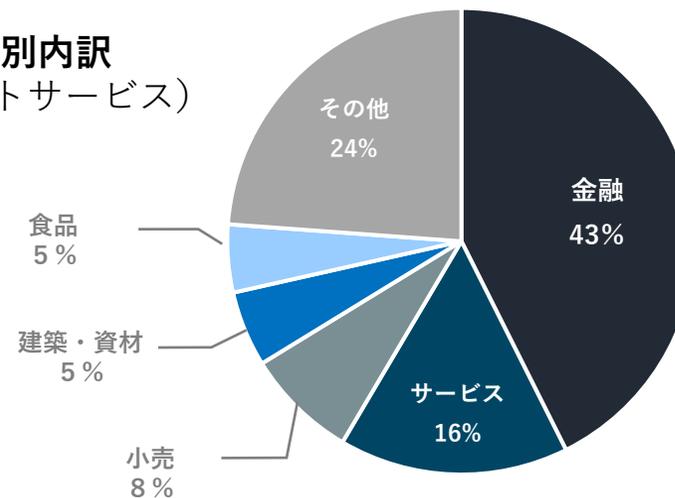
顧客業種別売上状況

金融・サービスが売上全体の半分以上を占める

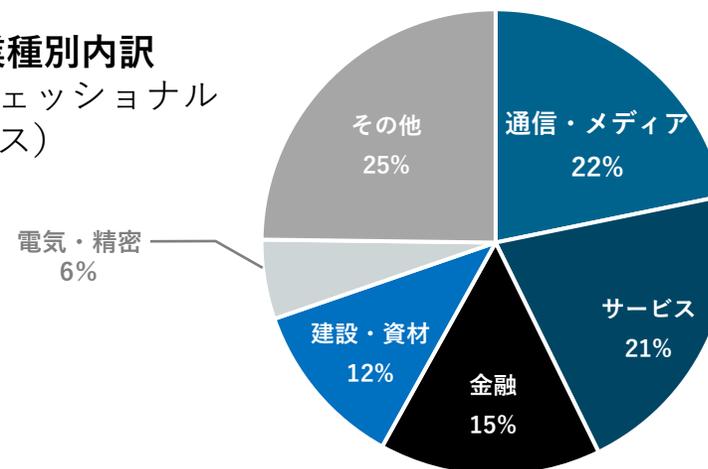
■ 売上の業種別内訳 (全体)



■ 売上の業種別内訳 (プロダクトサービス)



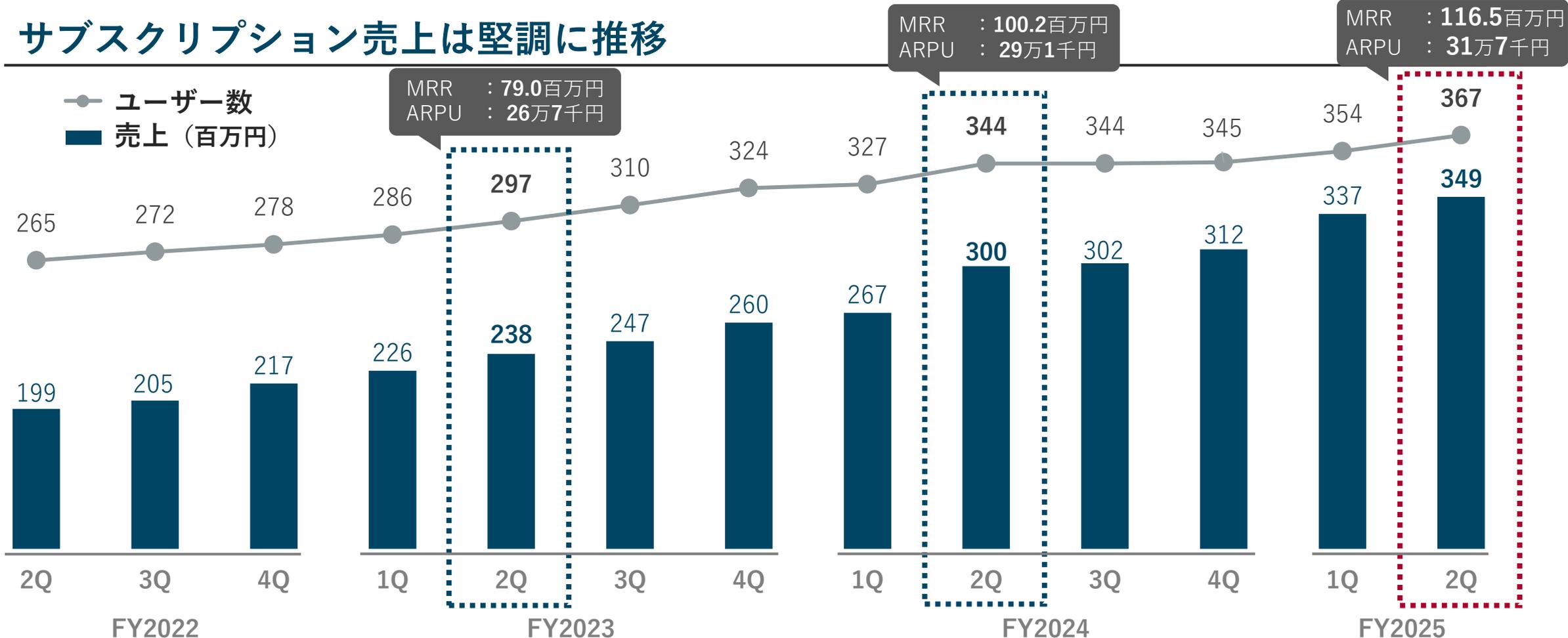
■ 売上の業種別内訳 (プロフェッショナルサービス)



※ 2024年2Q~2025年1Q (1年間)、ラキール単体での売上実績に基づく

LaKeel製品※1サブスクリプション売上※2・ユーザー数の推移

サブスクリプション売上は堅調に推移



※1 LaKeel製品には、DX、BI、HR、Workflow、Commerce、OnlineMediaService、Data Insight、Messenger、My Number、Stress Check、Process Manager、eDocumentが含まれる。 ※2 売上は四半期の合計、ユーザー数は各四半期末時点での数値。 ※3 MRR(月間経常収益)は各四半期売上を3で除して算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出。

貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)	FY2024 期末	FY2025 2 Q末	増減率 (対前年期末)
流動資産	3,492	4,235	+21.3%
現預金	2,547	2,380	△6.6%
固定資産	2,508	2,552	+1.8%
のれん	367	349	△4.7%
総資産	6,000	6,787	+13.1%
流動負債	2,047	2,487	+21.5%
固定負債	359	308	△14.4%
純資産	3,593	3,991	+11.1%
自己資本	3,573	3,972	+11.2%
(自己資本比率)	59.6%	58.5%	△1.0P
非支配株主持分	19	19	△2.2%

財務

- 現預金は23.8億円、前期末比で約1.67億円減少
- 有利子負債は9.5億円（流動7億円、固定2.5億円）
- 自己資本比率は、58.5%

のれんの計上、償却

- 2017年11月のMBOと2018年12月の子会社取得に伴い当初約6億円を計上、期末時点の残価は3.49億円
- 効果の及ぶ期間(12年～20年)を見積り償却中

その他トピックス：自己株式の取得

目的

直近の株価水準等を勘案し、経営環境の変化に対応した自己株式を利用する機動的な資本政策、株主への利益還元及び資本効率の向上を実現するため。

概要

取得する株式の総額 : 280,000,000円 (上限)

取得する株式の総数 : 200,000株 (上限)
(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合2.8%)

取得期間 : 2025年8月13日～2026年2月28日

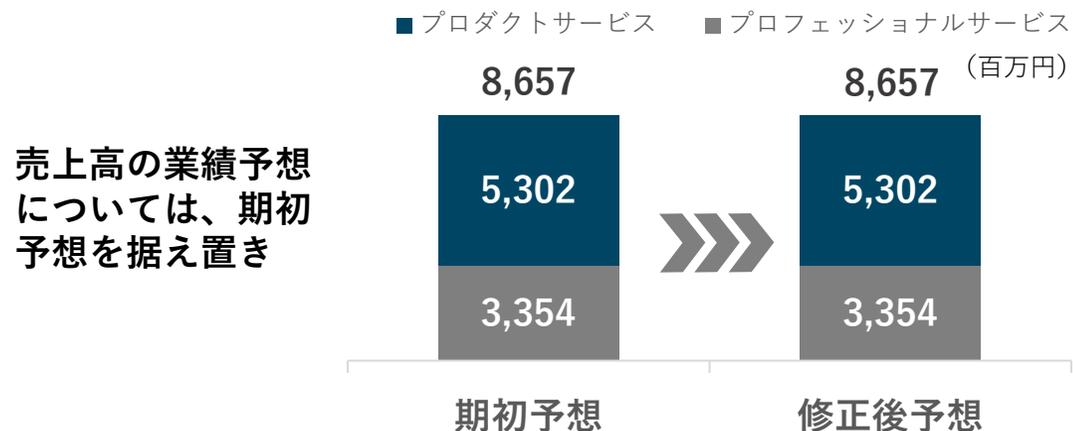
取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

3. 業績予想の修正について

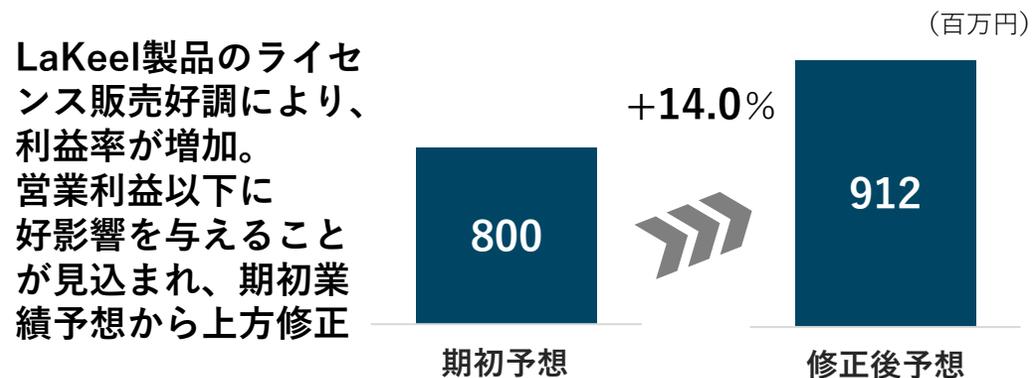
FY2025 連結業績予想の修正

売上高は据え置き、利益を上方修正

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社に帰属する当期純利益 (百万円)



4. 事業の特色と成長戦略

ビジョンと事業内容

デジタルネイティブカンパニー ～明日の日常を創り出す～

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する
2つのサービス



“デジタルとビジネスのより良い関係を創り出す”

プロダクトサービス

DX関連サービス

- LaKeel DX/Apps
 - ・ LaKeel DX：クラウドアプリケーションの開発・運用基盤
 - ・ LaKeel Apps：LaKeel DX上で稼働する製品群
- コンサルティングサービス
 - ・ LaKeel DXと機能部品群を最大限に活用する**コンサルティング**
 - ・ LaKeel DX上に収集された膨大なデータの**分析サービス**

プロフェッショナルサービス

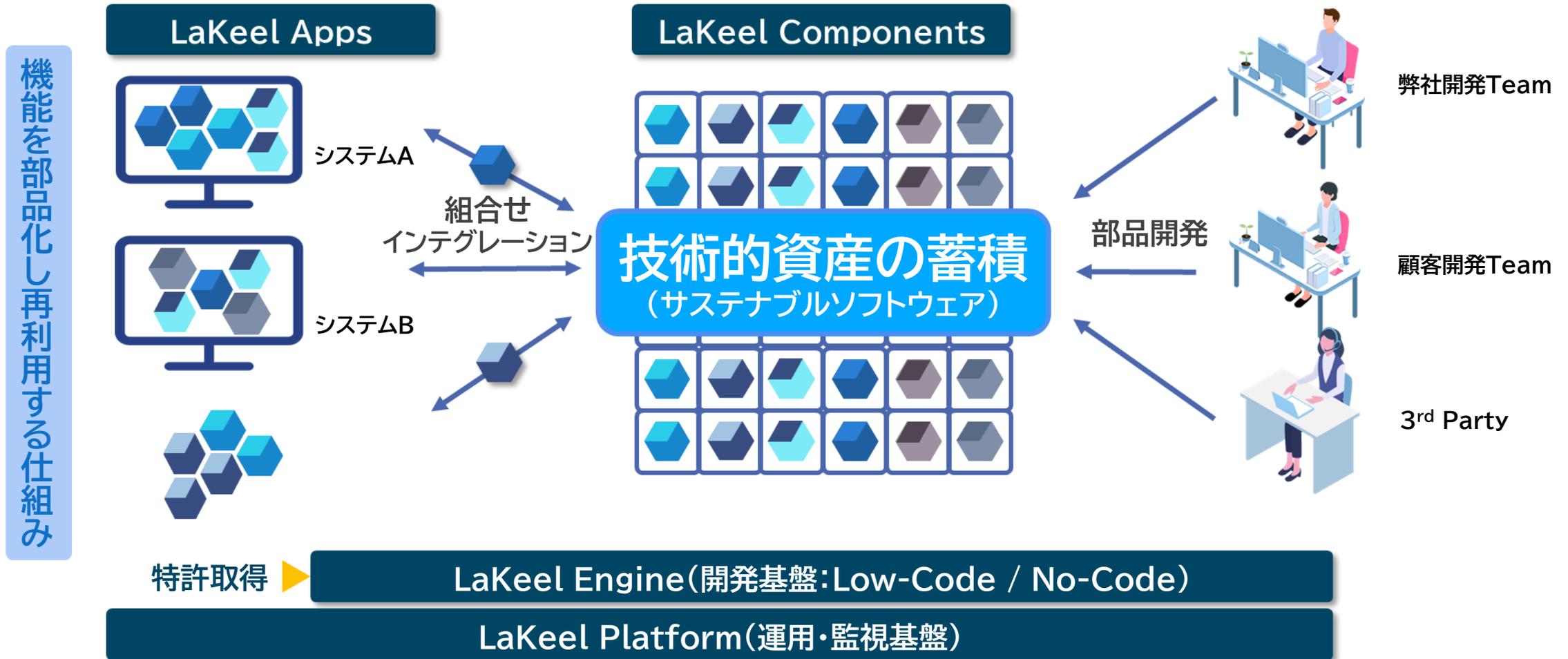
システム関連サービス

- システム開発サービス
 - ・ レガシーマイグレーション、クラウドマイグレーション
 - ・ スクラッチ開発
- システム保守サービス

サステナブルソフトウェアの提供

陳腐化せず、成長・変化し続ける技術的資産

※ LaKeel DX機能レイヤ



LaKeel Apps (製品群)

企業を支える14種類の LaKeel Apps

BI (Business Intelligence) ツール



経営・会計・人事などの多くのデータを集約・加工し、これを判り易く可視化し、経営戦略のための意思決定を行う製品。



データ分析・統合管理プラットフォーム



クラウド技術を利用し超大規模のビッグデータアナリティクスに対応する他、マイクロサービス技術により可視化や分析の先にある行動に繋げる事が可能。



戦略人事実行支援プラットフォーム



人事戦略の実行支援がコンセプトの人事基幹業務システム。タレントデータやピープルデータなどの幅広いデータ管理、業務の属人化を防止する業務プロセス管理、分析に加え次のアクションの自動化などの特徴的な機能を提供。



マイクロ・ラーニングプラットフォーム



提供するコンテンツの分野は、労働・安全・食品・ハラスメント等。また、多言語 (英語・中国語(簡体字)・ベトナム語・ネパール語・ミャンマー語・ポルトガル語(ブラジル)) にも対応。



ビジネスチャットツール



業務プロセス管理



アンケート収集管理



企業向けストレスチェックツール



高性能ワークフローシステム



電子帳簿サービス



生成AIチャットシステム



大企業向けID管理基盤



マイナンバー管理ツール



eコマースプラットフォーム



LaKeel AI lineup①

ラキールは、業務に必要なシステムを簡単に作れる世界を目指し、企業の生産性とビジネススピードを飛躍的に向上させることに貢献します。

LaKeel AI Navigator



ラキール“新章”ローコード開発のその先へ

生成AIを活用し、チャットでの指示によって瞬時に画面部品を構築します。システムの利用者は、自分が欲しい画面機能を即座に作れる世界を実現できます。「社員情報を登録するフォームを作成してください」などの要望・指示を伝えるだけで、必要な項目が配置され、デザインの調整も自動で行われます。さらに、画面部品はビジネスロジック（機能部品）とシームレスに連携しているため、画面を作成することでシステム全体を構築することが可能になります。

LaKeel AI Chatbot



欲しい情報を欲しい人が欲しい時に手にする

生成AIに加え、RAG（検索拡張生成）を活用することで、大量のデータに対して自然言語での問い合わせを実施し、高精度の回答を得る仕組みを提供します。この仕組みを利用することで、企業は自社内の規定や製品仕様書、FAQなどを簡単に登録し、専用のナレッジベースを構築できます。ユーザーからの問い合わせに対しては、登録されたテキスト情報を元に生成AIが要約した回答を提供するため、従来のチャットボットでは難しかった高度な質問にも対応可能です。

LaKeel AI Dialogue



即時回答と創造力、AIで未来の働き方を

生成AIを活用した強力なチャットシステムで、従業員の日常業務を効率化する支援ツールです。リアルタイムで任意の生成AIとテキストベースの対話が可能となり、情報検索、アイデア生成、文章校正がスムーズに行えるようになります。生成AIのサポートによって、業務効率化を実現し、組織全体の生産性向上に貢献すると共に、従業員は複雑な問題を新たな視点から解決することが可能となります。

LaKeel AI lineup②

ラキールは、誰でもデータを簡単に扱うことのできる世界を目指し、データを起点にした意思決定の精度を飛躍的に向上させることに貢献します。

LaKeel BI Concierge



LaKeel BI + 生成AI = 誰でもインサイトが得られるチャット機能

データをグラフなどで可視化し、意思決定を支援する弊社の LaKeel BI に生成AIを活用することで、人間では見逃しがちな課題や洞察を見つけ出し、新たな発見や迅速な対応を可能にする機能です。この機能により、社内にデータアナリストがいなくとも、データドリブンマネジメントを実現することが可能になります。

LaKeel AI Discovery



LaKeel Data Insight + 生成AI = 専門知識不要のデータ利活用

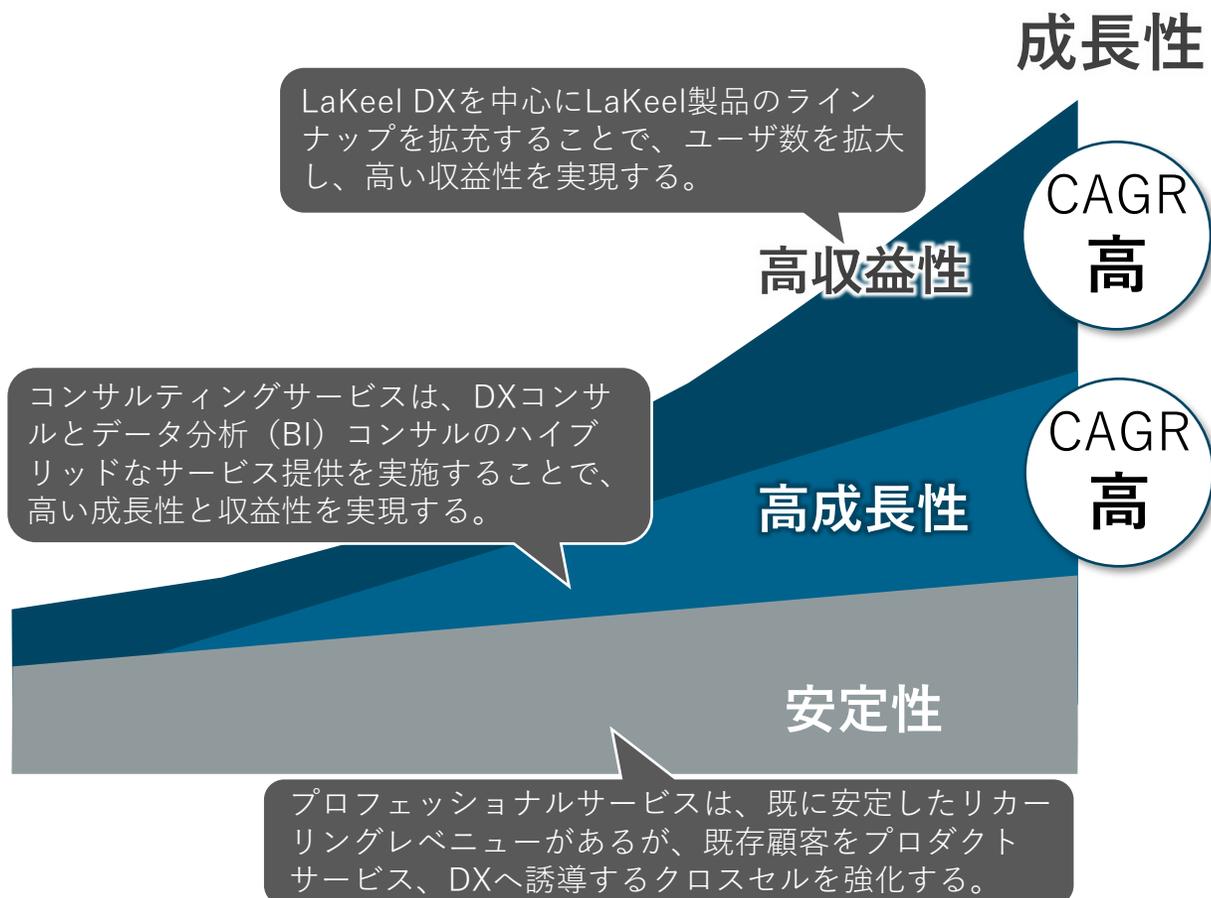
自然な言葉で質問や指示を伝えるだけで、データの検索や集計が可能になります。ITの知識がない方でも直感的に操作でき、必要な情報を簡単に取得できるようになります。企業内のデータ活用がさらに促進され、業務効率の向上や意思決定の迅速化に寄与します。

成長戦略：サービスポートフォリオ

高い収益性が期待できるプロダクトサービスに注力

長期にわたって継続的なアップセルとクロスセルを目指し、高い顧客生涯価値(LTV*)を促進する

*LTV：Life Time Value



■ プロダクトサービス(LaKeel DX/Apps)

- ・ 高い収益性と継続性を重視した収益モデル

ライセンス型/サブスクリプション型

■ コンサルティングサービス

- ・ 高度な技術力により高い成長性を重視した収益モデル

フロー型

■ プロフェッショナルサービス

- ・ 安定性と継続性を重視した収益モデル

フロー型/リカーリング型

成長戦略：DX市場規模

DX 国内市場 (2030年予測)

6兆5,195億円

2兆7,277億円

2022年度

2030年度

出所) 株式会社富士キメラ総研
「2023 デジタルトランスフォーメーション
市場の将来展望 市場編」

DX当社ターゲット (2030年予測)

7,605億円

3,548億円

2023年度

2030年度

出所) DX国内市場の成長に合わせ、
CAGR11.5%として当社でグラフ化

DX 世界市場 (2030年予測)

3兆1,449億米ドル

471兆7,350億円 (¥150/\$換算)

出所) 株式会社グローバルインフォメーション
「デジタルトランスフォーメーションの世界市場(～2030年):
提供区分(ソリューション・サービス)・技術(クラウドコンピューティング・ビッグデータ&アナリティクス・ブロックチェーン・サイバーセキュリティ・AI)・ビジネス機能(会計&財務・IT・人事)・産業・地域別」

既存取引先データ

既存取引先社数：340社	当社2023年実績より
売上：112兆6,439億円	上場企業：開示資料 非上場企業：(株)帝国データバンク、(株)東京商工リサーチより
IT投資予算：2兆3,655億円 (売上の2.1%)	「企業IT動向調査報告書2023」 JUAS ((社)日本情報システム ユーザー協会)より
DX投資予算：3,548億円 (IT投資の15%)	当社見込み



成長戦略：ラキールが目指す姿



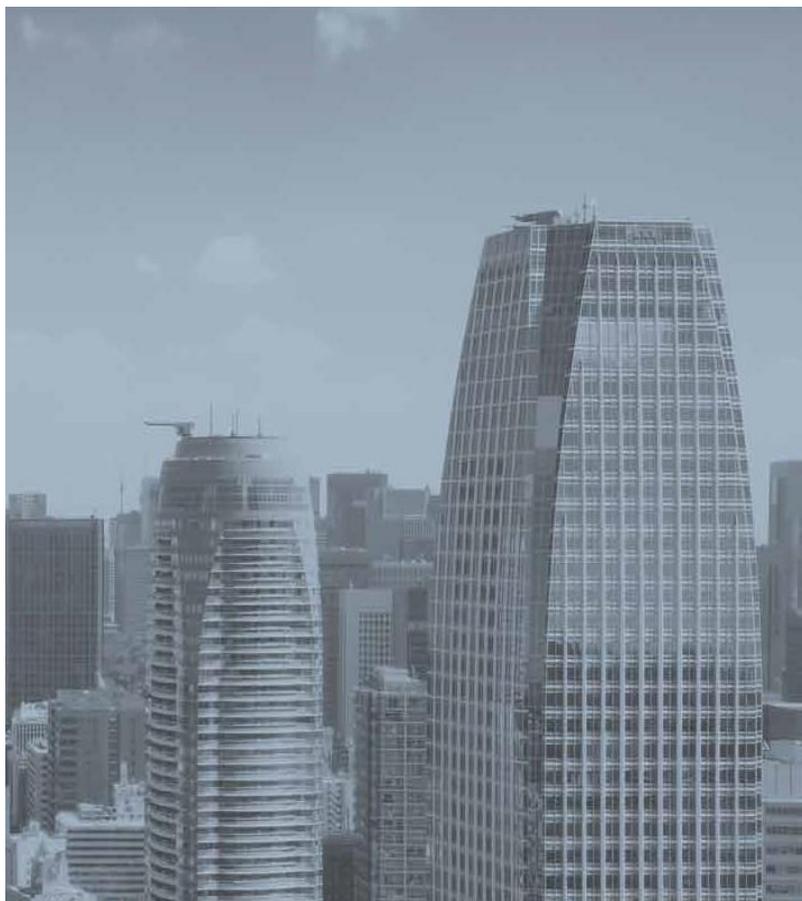
ラキールは高い技術力とビジネスへの洞察力を基にしたDXソリューションを積極的に展開します。

顧客企業のデジタルビジネスプラットフォームとしてLaKeel DX(Application PaaS)を広く採用いただくことで、ソフトウェア部品を企業間で流通させ利益を生み出す「LaKeel DXエコノミー」を構築し、ソフトウェア部品産業という新たな市場を創出します。

ラキールは、アプリケーションのプラットフォームメーカーとして、これまでのITの在り方にパラダイムを起こし、パーパスとして掲げる『明日の日常を創り出す』を実現してまいります。

5. Appendix

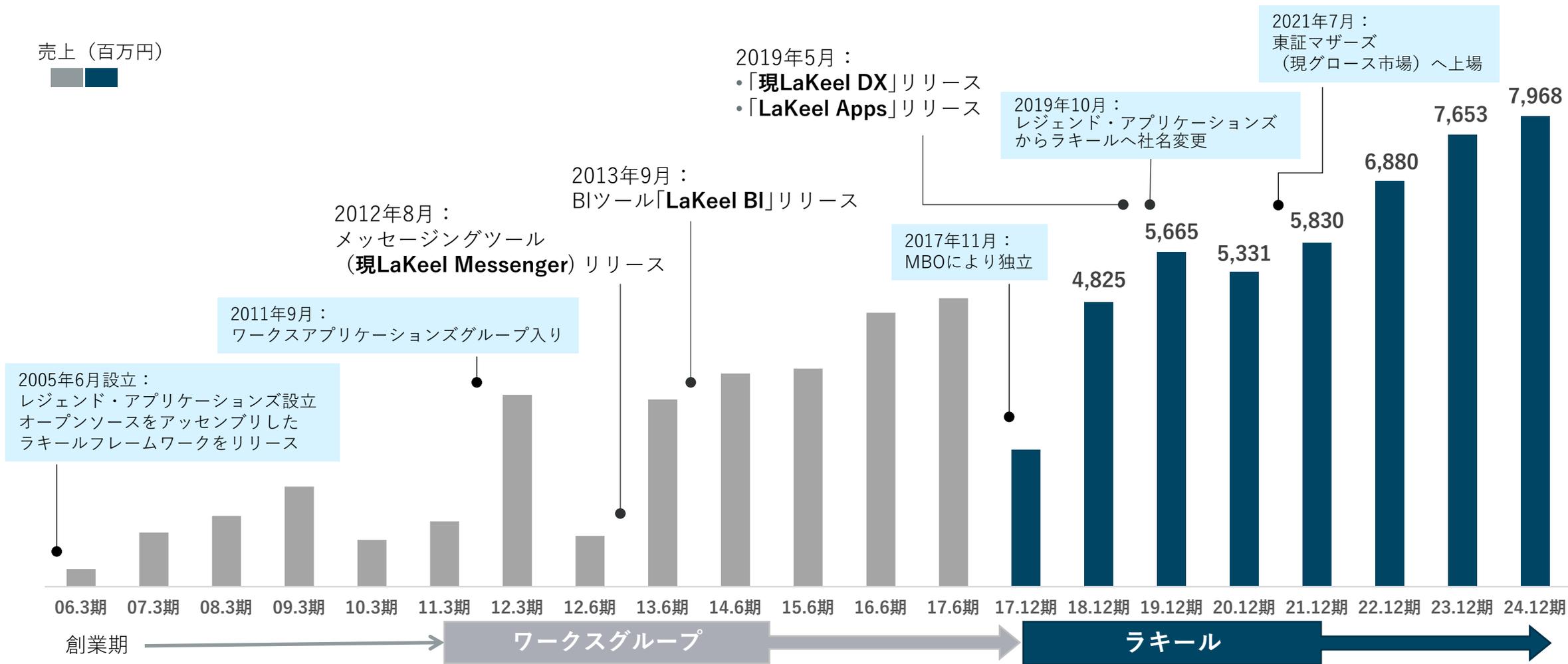
会社概要



会社名	株式会社ラキール (LaKeel, Inc.)
会社創立日	2005年6月10日
資本金	1,016百万円 (2024年12月31日現在)
本社所在地	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー33階
代表取締役社長	久保 努
事業内容	企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する プロダクトサービスとプロフェッショナルサービスを提供
社員数	453名 (連結 2024年12月31日現在)
当社グループ	Legend Applications China Holding, Inc. 北京利衆得応用技術有限公司 株式会社ZEST
上場市場	東証グロース市場
業種別分類	情報・通信業
証券コード	4074 (ISIN JP3967020003)

沿革

売上（百万円）

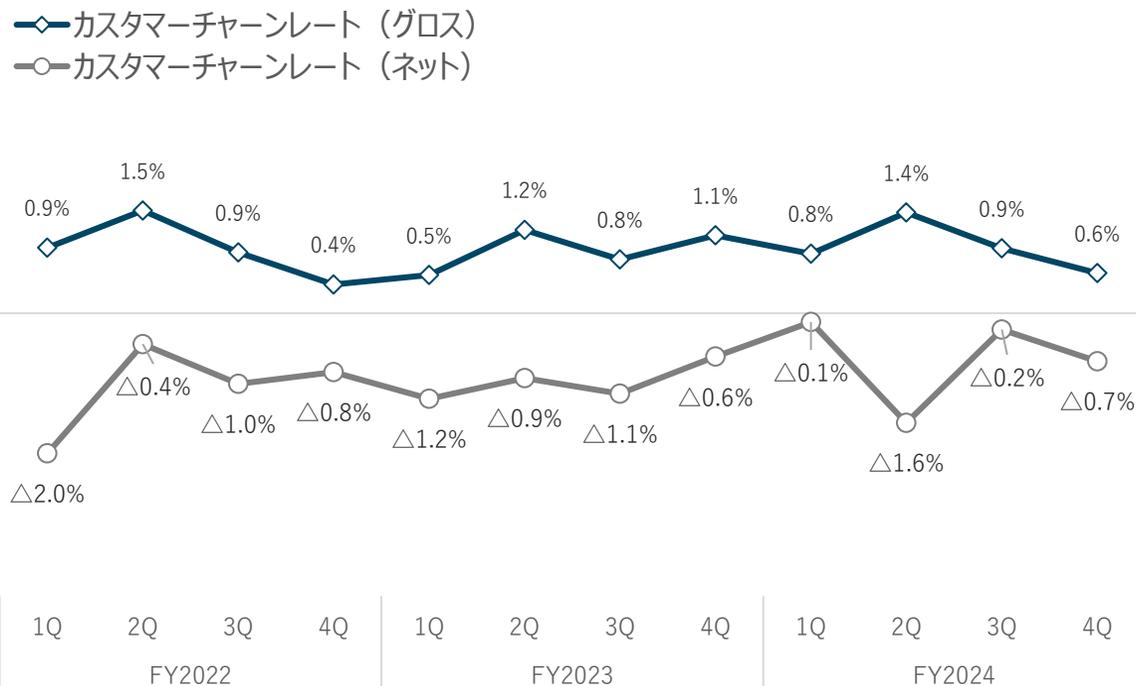


*1 18.12期より連結、それ以前は単体 *2 12.6期は決算期変更で3か月 *3 17.12期は、2017年7月1日から12月31日までの旧(株)レジェンド・アプリケーションズの売上を記載

プロダクトサービス

連続して純増を継続。MRRは前年同期比で20%増

■ LaKeel製品の解約率（チャーンレート）



本資料記載の解約率は、以下の方法により算出

- ・ カスタマーチャーンレート（グロス）
「月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均
- ・ カスタマーチャーンレート（ネット）
「（月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 - 月中に新規契約したLaKeel製品ユーザー数） ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均

■ LaKeel DX/Apps の販売データ（FY2023→FY2024）

	FY2023	FY2024	増減率
【LaKeel製品】			
サブスク売上(年間)	972.2百万円	1,183.0百万円	+21.7%
ユーザー数(期末時)	324	345	+6.5%
MRR(4Q時)	86.7百万円	104.0百万円	+20.0%
ARPU(4Q時)	26万7千円	30万1千円	+12.7%

(内訳)

【LaKeel DX】			
サブスク売上(年間)	228.3百万円	257.3百万円	+12.7%
ユーザー数(期末時)	12	13	+8.3%
MRR(4Q時)	20.4百万円	22.2百万円	+8.8%
ARPU(4Q時)	170万1千円	170万8千円	+0.4%

【LaKeel Apps】			
サブスク売上(年間)	743.8百万円	925.6百万円	+24.4%
ユーザー数(期末時)	312	332	+6.4%
MRR(4Q時)	66.2百万円	81.8百万円	+23.4%
ARPU(4Q時)	21万2千円	24万6千円	+16.0%

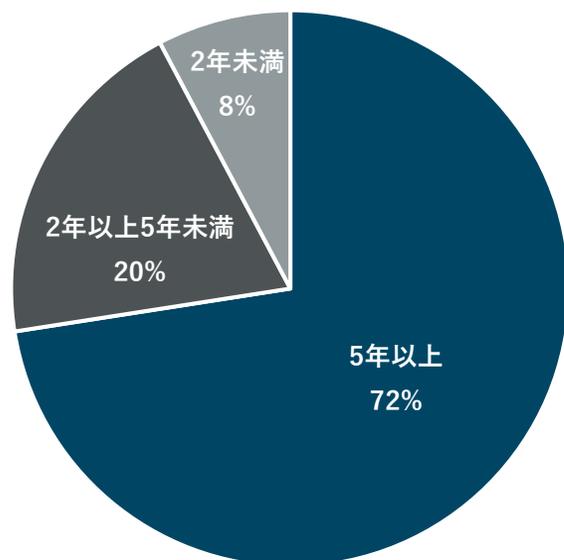
- ・ MRR（月間経常収益）：（四半期のサブスク売上高） ÷ 3
- ・ ARPU（ユーザー平均単価）：MRR ÷（各四半期末のユーザー数）

プロフェッショナルサービス

安定収益を生み出す顧客基盤

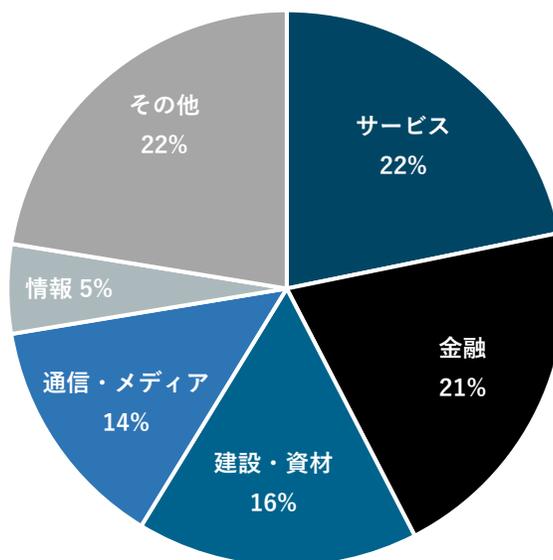
- 創業当時から取引を継続している大手企業を中心にビジネスを展開
- 幅広い業種で200社超の取引実績を有しており、最近はサービス・金融との取引が堅調
- 年間取引額が1億円を越す取引先の売上累計が、全体売上の6割弱を占める

— 取引期間別 —



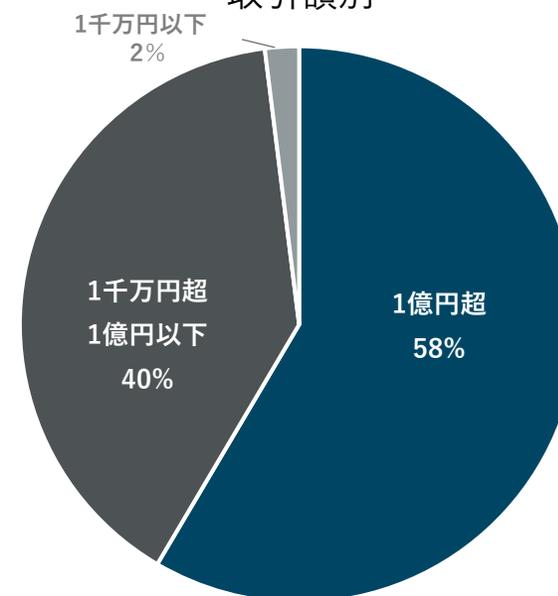
総売上に占める取引期間別割合
(2024年12月期実績)

— 顧客業種別 —



総売上に占める業種別割合
(2024年12月期実績)

— 取引額別 —

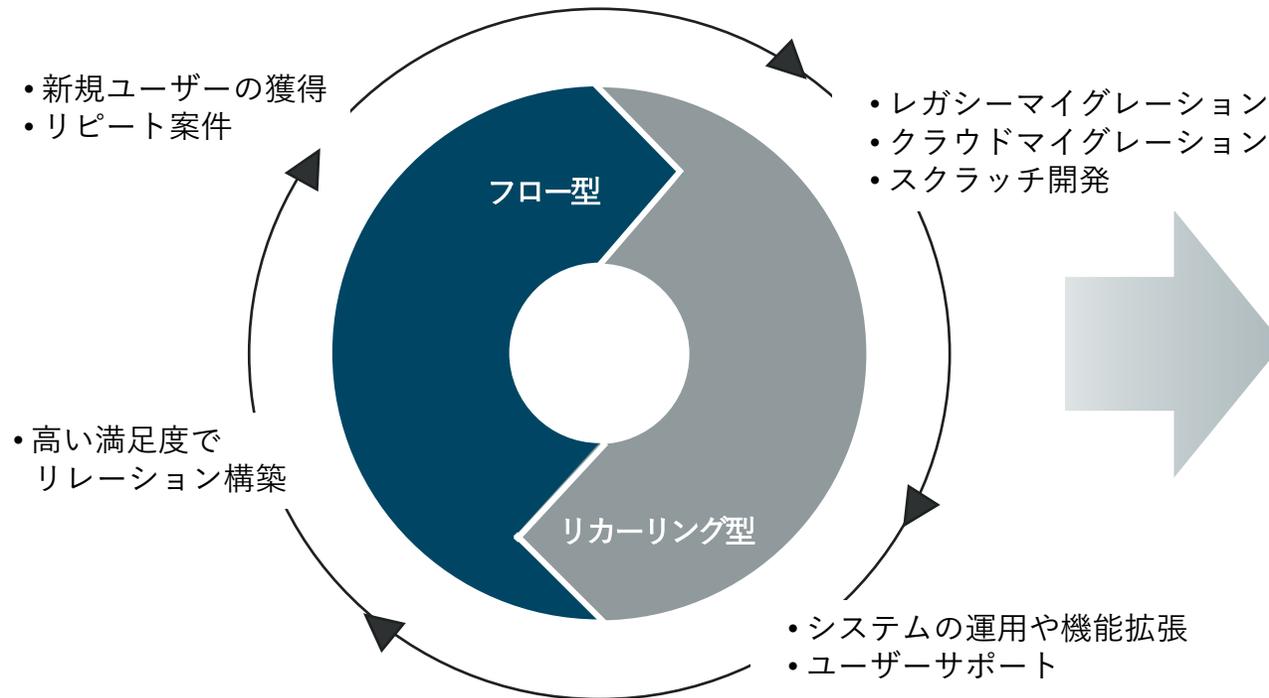


総売上に占める1社当たり年間取引額別割合
(2024年12月期実績)

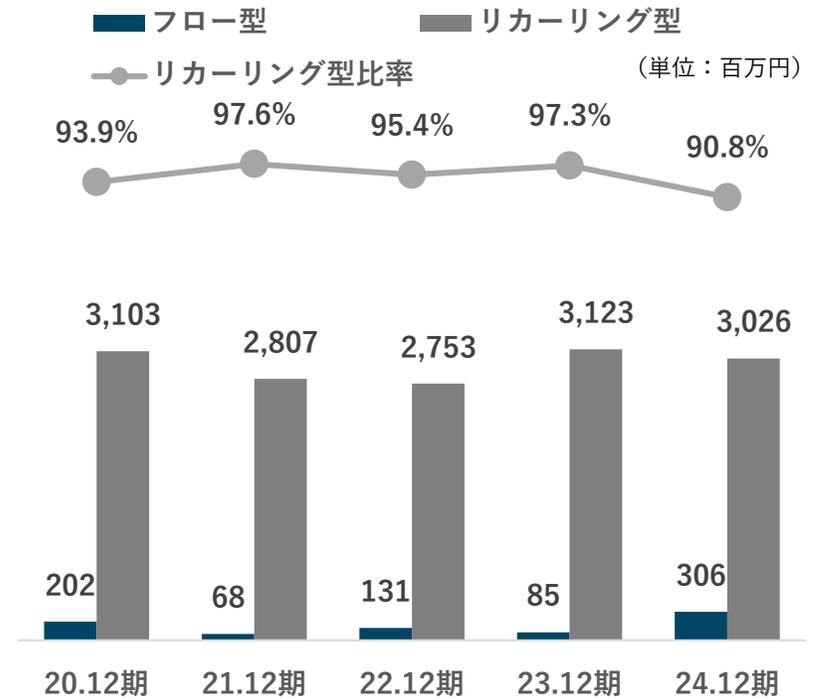
プロフェッショナルサービス

90%を超えるリカーリング売上による安定収益

— 高付加価値循環型モデル —

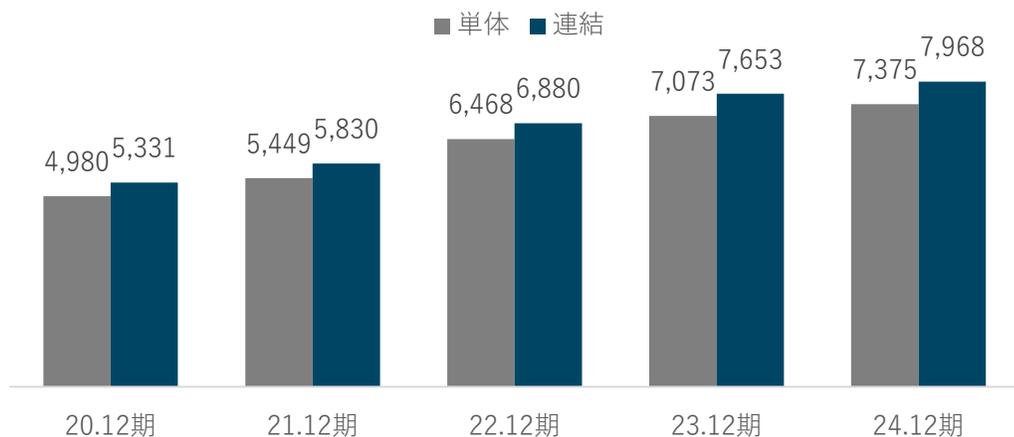


— モデル別売上の推移 —

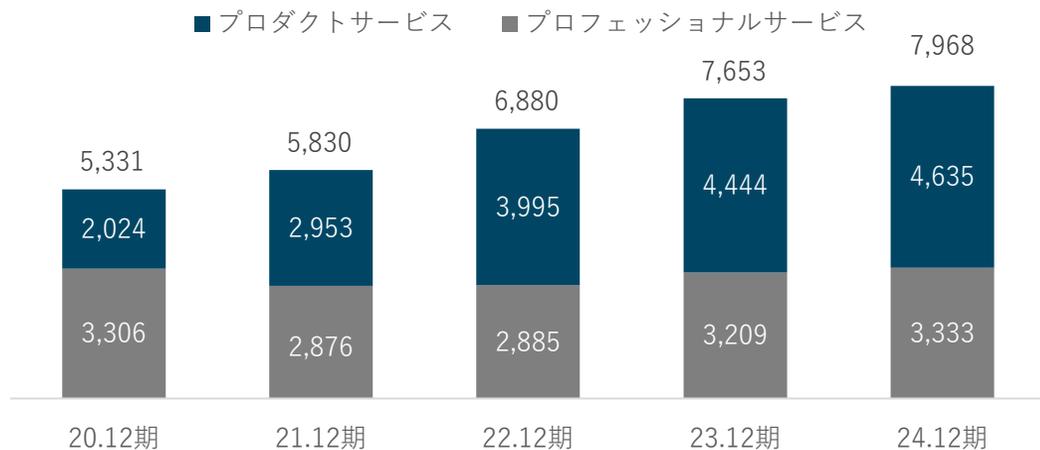


財務データ①

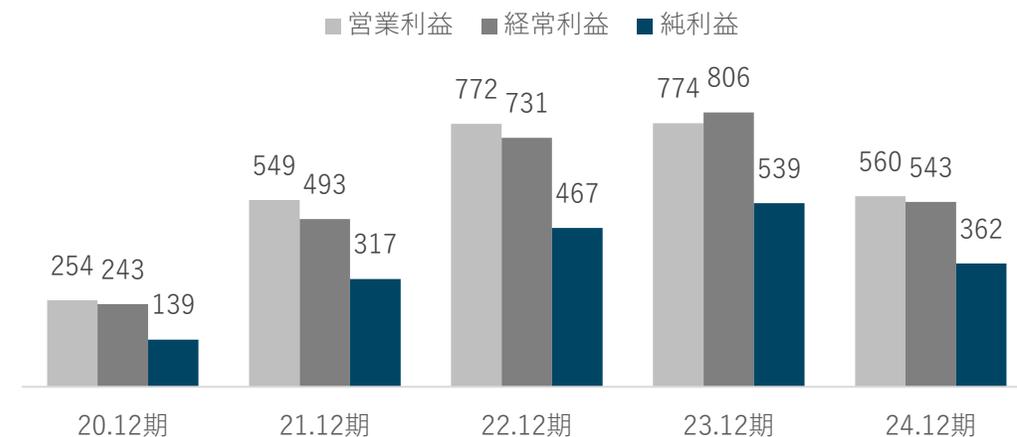
■ 売上 (百万円)



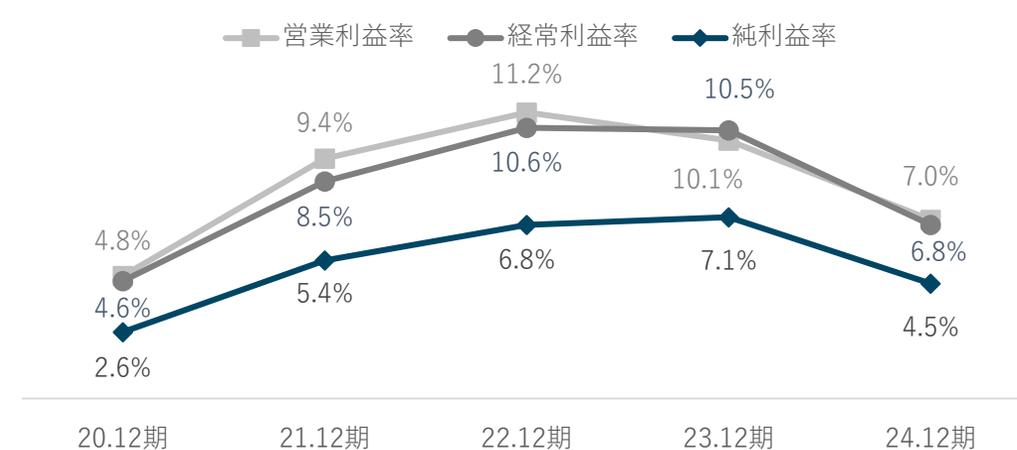
■ サービス別売上 (百万円、連結)



■ 利益 (百万円、連結)



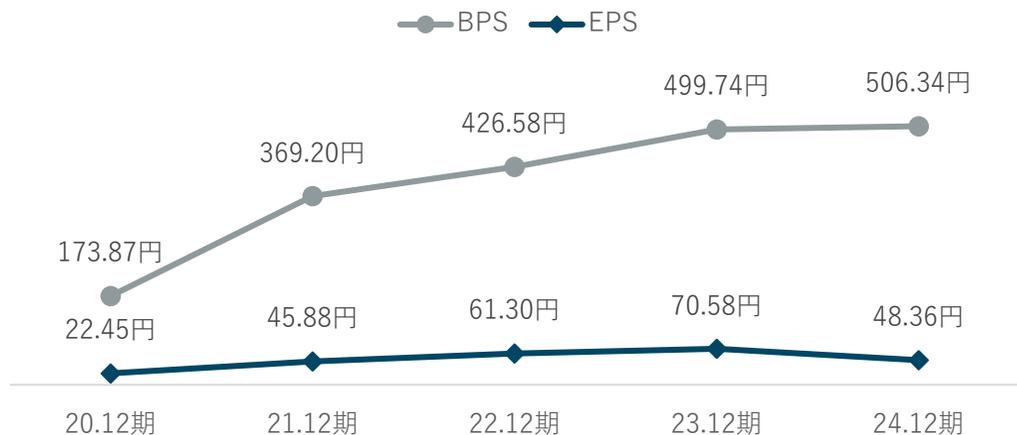
■ 利益率 (%、連結)



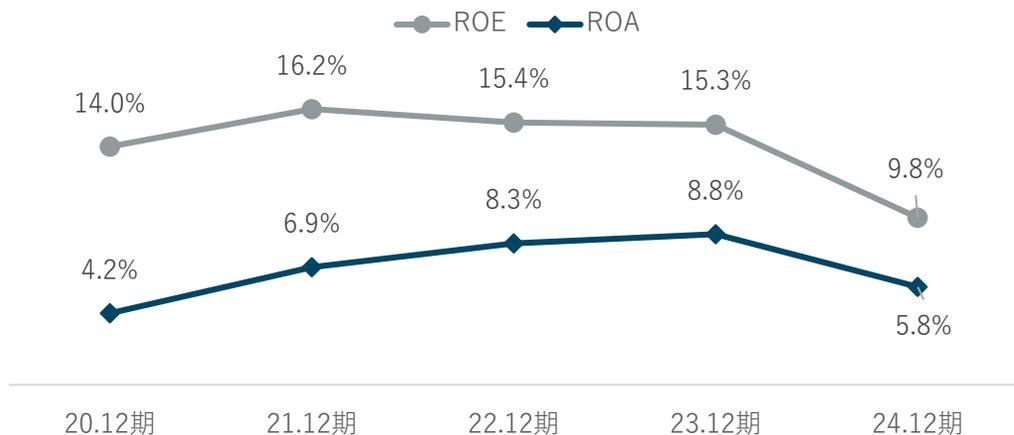
※ 純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載

財務データ②

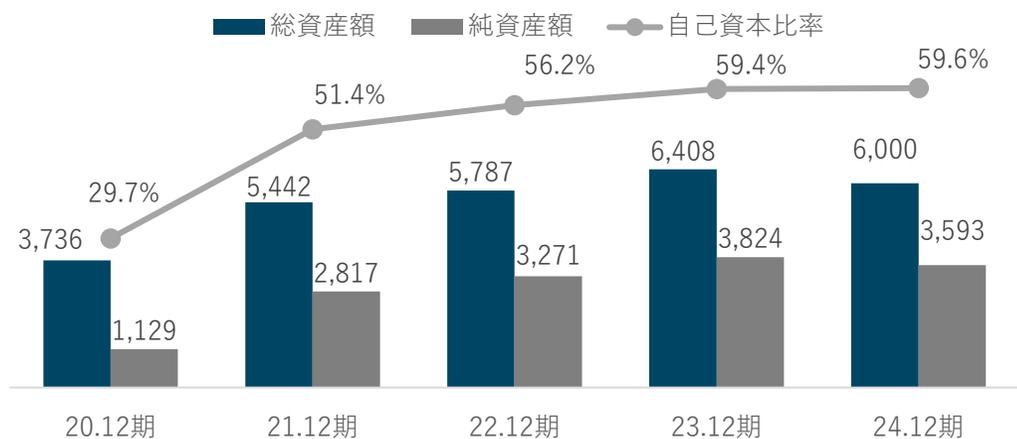
■ BPS・EPS (円)



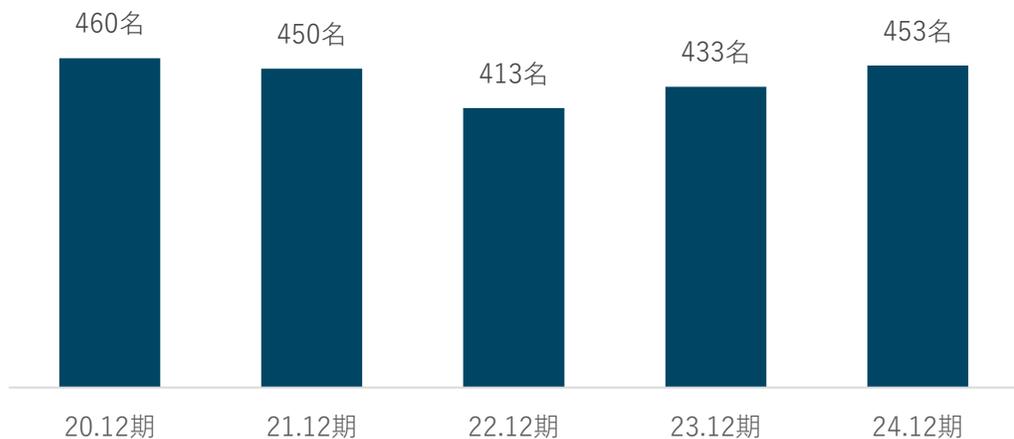
■ ROE・ROA (%)



■ 総資産額・純資産額、自己資本比率 (百万円、%)



■ 従業員数 (名)

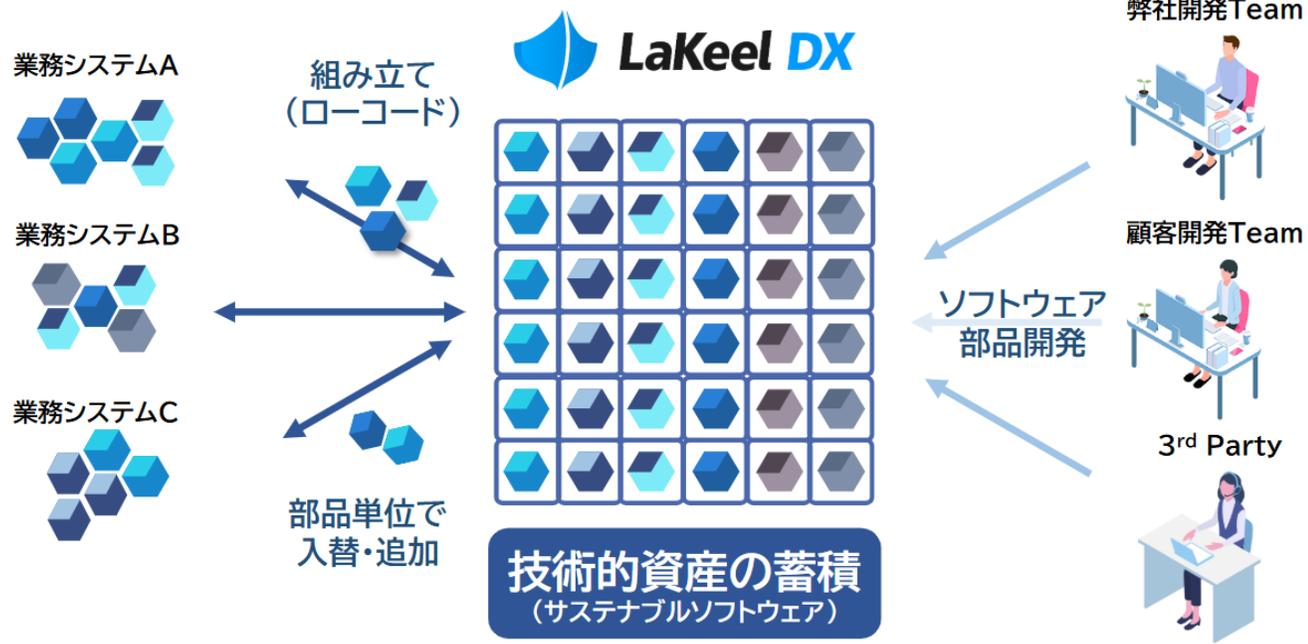


その他トピックス：組織改編 ～広島県呉市に完全子会社を設立～

最新技術を扱うシステム開発拠点で地方創生を目指す

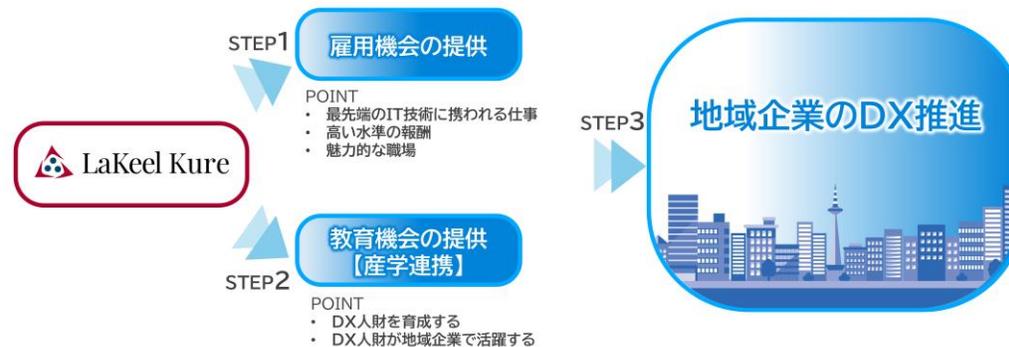
2025年4月、当社は広島県呉市に新たな拠点「呉オフィス」を開設いたしました。また同時にラキールの100%子会社である株式会社ラキール呉（以下「ラキール呉」）を設立いたしました。呉オフィス及びラキール呉では、LaKeel DXをはじめとする自社製品やソフトウェア部品の開発を行う予定です。

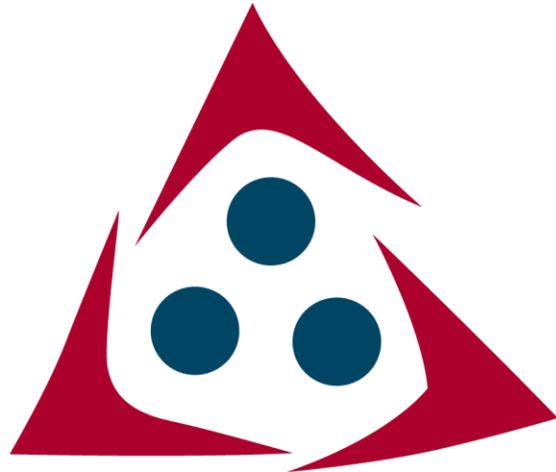
■ LaKeel DXによるソフトウェアの部品化と再利用のイメージ



ここにラキール呉が参画
ソフトウェア部品や新製品の開発を促進

■ 地方創生のビジョン





LaKeel

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

株式会社ラキール

コーポレートサイト

<https://www.lakeel.com>

IR情報

<https://www.lakeel.com/ja/ir.html>

お問合せ

lakeel-ir@lakeel.com

